

## 令和6年度シラバス（地理歴史）

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	地理歴史(地理探究)	単位数	3単位	学年(コース)	6学年
使用教科書	帝国書院『新詳地理探究』 帝国書院『新詳高等地図』				
副教材等	帝国書院『新詳地理資料COMPLETE』 とうほう『ニューコンパスノート地理』 二宮書店『データブック・オブ・ザ・ワールド』 ベネッセ『進研WINSTEP「地理総合・地理探究」』				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

### 2 学習目標

社会的現象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

### 3 指導の重点

- ①身近な地域や自分自身の生活と関連付け、世界の諸地域の地理的事象について、意欲的に追究する。
- ②現代世界の諸課題について、系統地理的・地誌的に考察することができる。
- ③地図や統計などの資料を自ら分析し、現代世界の地理的事象について読み取ることができる。
- ④現代世界の国や地域及びそれらの関係性などについての基本事項を理解している。

#### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題を理解している。また、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにしている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについて自覚などを深めている。

#### 5 評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物、課題などの内容の確認  などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物、課題などの内容の確認  などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・提出物、課題などの内容の確認 ・授業への参加状況  などから、評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。		

#### 6 学習計画

月	授業 時数	学習活動(指導内容)	評価方法
4	<b>【第3章 交通・通信と観光、貿易】</b> <b>3節 貿易と経済圏</b> 1 世界の貿易と地域間格差 2 貿易の自由化と経済連携 3 日本の貿易	5 <ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて理解する。</li> <li>・拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・貿易と経済圏について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</li> </ul>	定期考査 授業への参加状況 課題・提出物
	<b>【第4章 人口、村落・都市】</b> <b>1節 人口</b> 1 世界の人口 2 人口の移動	3 <ul style="list-style-type: none"> <li>・増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて理解する。</li> <li>・増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・人口について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</li> </ul>	定期考査 授業への参加状況 課題・提出物

6  7 8 9	<b>2節 人口問題</b> 1 世界の人口問題 2 日本の人口問題	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて理解する。</li> <li>・社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・人口問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</li> </ul>	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物
	<b>3節 村落と都市</b> 1 集落の成り立ち 2 村落の形態と機能 3 都市の成立と形態・機能 4 都市圏の拡大と都市の構造	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について理解する。</li> <li>・村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・村落と都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</li> </ul>	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物
	<b>4節 都市・居住問題</b> 1 発展途上国の都市・居住問題 2 先進国の都市・居住問題 3 日本の都市・居住問題	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて理解する。</li> <li>・世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</li> </ul>	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物
	<b>【第5章 生活文化、民族・宗教】</b> <b>1節 衣食住</b> 1 世界の衣服と食生活 2 世界の住居と衣食住の画一化	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて理解する。</li> <li>・自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・衣食住について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</li> </ul>	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物
	<b>2節 民族・宗教と民族問題</b> 1 世界の民族・言語 2 世界の宗教 3 さまざまな民族問題 4 多文化の共生に向けた取り組み	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景とのに関わりについて理解する。</li> <li>・世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景とのに関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・民族・宗教と民族問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</li> </ul>	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物
10				

<b>3節 国家の領域と領土問題</b> 1 現代世界と国家 2 領土問題と解決への取り組み 3 日本の領域と領土をめぐる問題	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解する。</li> <li>・国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・国家の領域と領土問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</li> </ul>	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物
<b>【第1章 現代の世界の地域区分】</b> <b>1節 地域区分</b> 1 地域区分の意義と指標	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解する。</li> <li>世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につける。</li> <li>・世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</li> </ul>	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物
<b>【第2章 現代世界の諸地域】</b> <b>序節 地域の考察方法</b> 1 地誌的な考察方法	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特徴を把握するための3つのアプローチの方法を理解する。</li> </ul>	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物
<b>1節 中国</b> 1 中国の政治体制と多様な民族 2 中国の食生活と農業・水産業 3 中国の工業化と海外進出 4 経済発展に伴うさまざまな課題	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解する。</li> <li>・工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・中国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</li> </ul>	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物
<b>2節 韓国</b> 1 韓国の歴史と生活文化 2 産業の発展と生活の変化	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解する。</li> <li>②日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>③韓国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</li> </ul>	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物

1	<b>3節 ASEAN諸国</b> 1 ASEAN 諸国の歴史と文化・民族 2 ASEAN 諸国の農業とその変化 3 ASEAN 諸国の工業とその発展 4 ASEAN の変化と課題	6	・古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいる ASEAN 諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解する。 ・古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいる ASEAN 諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ASEAN 諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	定期考査 授業への参加状況 課題・提出物
2	<b>4節 インド</b> 1 急速な経済成長を支えた産業の発展 2 増加する人口と農村の変化 3 インド社会の変化と経済格差の拡大	5	・近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて理解する。 ・近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・インドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	定期考査 授業への参加状況 課題・提出物
	<b>5節 西アジアと中央アジア</b> 1 イスラームと人々の生活文化 2 交易の歴史と乾燥地域の農業 3 豊富な資源を生かして進められる開発	5	・自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を理解する。 ・自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・西アジアと中央アジアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	定期考査 授業への参加状況 課題・提出物
	<b>6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ</b> 1 歴史的な背景によって形成された多様な文化 2 他地域との結びつきと人々の生活の変化 3 一次産品への依存とそれがもたらす課題	5	・アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解する。 ・アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・北アフリカとサハラ以南アフリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	定期考査 授業への参加状況 課題・提出物

	<b>7節 EU諸国</b> 1 EUの成り立ちと結びつき 2 ヨーロッパの多様な農業と政策 3 移り変わるEUの工業 4 EU拡大による影響と課題	6 ・二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解する。 ・二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・EU諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物
	<b>8節 ロシア</b> 1 ロシアの成り立ちと体制変化 2 体制変化が産業にもたらした影響と課題	4 ・かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて理解する。 ・かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ロシアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物
	<b>9節 アメリカ合衆国</b> 1 移民国家としてのアメリカ合衆国の発展 2 世界の食料生産の鍵を握るアメリカ合衆国 3 進展する科学技術と産業 4 多民族社会と移民増加に伴う課題	6 ・移民国家としての多様性をもち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解する。 ・移民国家としての多様性をもち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・アメリカ合衆国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物
	<b>10節 ラテンアメリカ</b> 1 ヨーロッパの影響が強い社会 2 大土地所有制と農業の変化 3 工業化の進展と経済発展	5 ・かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて理解する。 ・かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ラテンアメリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物

<p><b>11節 オーストラリアとニュージーランド</b></p> <p>1 移民の歴史と多文化社会</p> <p>2 自然の恵みを生かして発達した産業</p> <p>3 強まるアジア・太平洋圏との結びつき</p>	5	<p>・南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解する。</p> <p>・南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>・オーストラリアとニュージーランドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。</p>	<p>定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物</p>
<p><b>【第1章 持続可能な国土像の探究】</b></p> <p><b>1節 将来の国土の在り方</b></p> <p>1 日本の強みと地理的な課題</p>	1	<p>・日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組みばよいかについて理解する。</p> <p>・日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組みばよいかについて、多面的・多角的に探究し、表現する。</p> <p>・将来の国土の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究する。</p>	<p>定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物</p>
<p><b>2節 持続可能な日本の国土像の探究</b></p> <p>1 課題の把握</p> <p>2 課題の追求</p> <p>3 課題の解決</p>	5	<p>・現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて理解する。</p> <p>②現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて、多面的・多角的に探究し、表現する。</p> <p>③持続可能な日本の国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究する。</p>	<p>定期考査 授業への参加 状況 課題・提出物</p>

計 105 時間 (50 分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・週末課題として、その週に学習した内容を「ニューコンパスノート」や「地形図・白地図ワーク」等で復習。週明けに提出。週によっては課題プリント（授業内容に関わるもの、大学入試問題等）にすることがあります。
- ・夏休み課題は別途指示します（「ニューコンパスノート」「地形図・白地図ワーク」「進研 WINSTEP」「プリント」等）。
- ・朝テストは、基本的に大学入試の過去問を行います（朝テストは評価には入れません）。

## 8 担当者からの一言

既習済みの系統地理の知識を活用して、貿易、人口、村落・都市、生活文化、民族・宗教の分野に加え、各地域の地誌学習を「理解」することを心掛けてほしいと思います。新たな学習内容も、既習知識を使えば、納得できることも多いはずです。

理由つけて知識を習得することを、6年生でも意識して、地理の学習を深化させましょう。

(担当：長岡 大)